

令和5年度 ゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム
(ゲノム医療実現推進プラットフォーム・先端ゲノム研究開発) (GRIFIN)
中間評価 評価コメント

No.	評価課題名	研究 代表者名	所属機関	役職
000-002	免疫担当細胞 eQTL データを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築	藤尾 圭志	東京大学	教授

【評価コメント】

免疫担当細胞内の遺伝子発現を予測するスコア (iTRS) の構築が進められている。必要に応じた研究開発体制の変更、共通プロトコルの利用、実務者による班会議等による連携に加えて、人材育成も実施されている。論文や学会・シンポジウムでの発表は概ね活発であり、コンソーシアムも拡大している。

一方、研究の定量的な進捗度、これまでの研究の具体的な成果、iTRS モデルの性能、等についてのいずれも情報提示が不十分である。モデル完成に重要な検証用データの収集は新型コロナの影響で遅れているが、収集の遅れを挽回し、意味のあるスコア開発の達成を期待する。